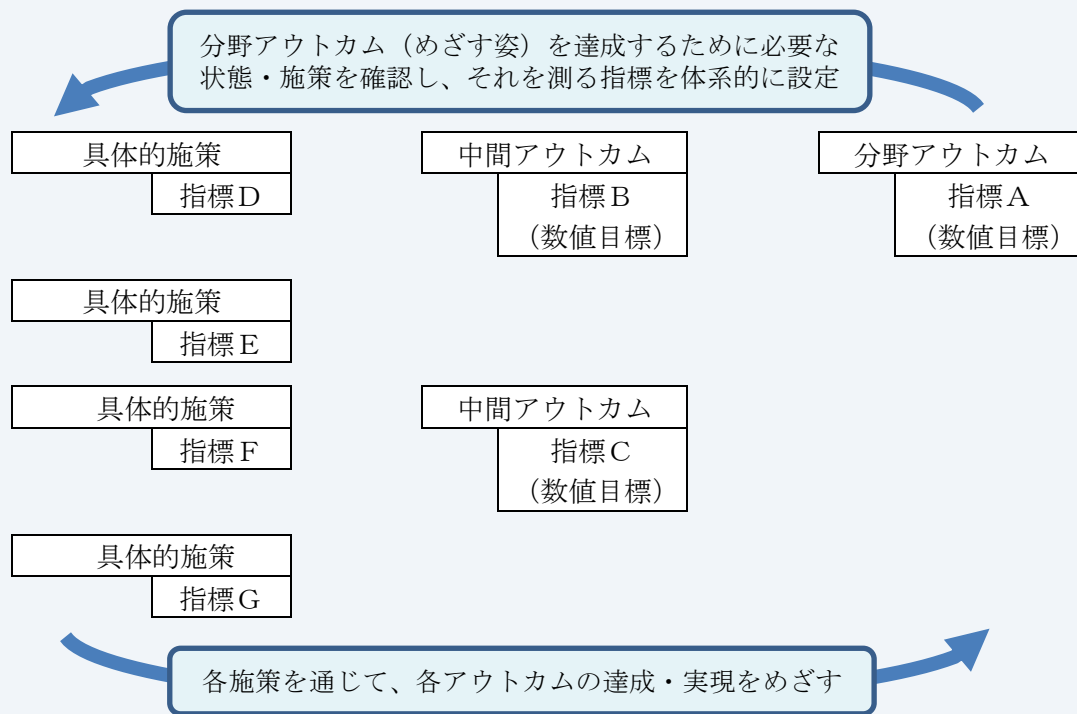


## ロジックモデルとは

- 第8次医療計画に向けた厚生労働省の指針において、5疾病・6事業および在宅医療に係る施策の検討や計画の評価の際、また各々の施策と解決すべき課題との関連を示す際に、各都道府県においてロジックモデル等のツールの活用を検討することとされました。
- ロジックモデルとは、施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化し、「何のために、何をする」のかについて示したものです。
- 計画の策定や推進にあたっての各段階（現状把握、策定、評価、見直し等）にロジックモデルを活用することで、PDCAサイクルの質の担保が期待できることから、本計画において、各疾病・事業（新興感染症を除く）・在宅医療対策にロジックモデルを導入しています。

### 【本計画におけるロジックモデルの枠組例】



### 【アウトカムとは】

- 具体的施策が対象にもたらした変化のことで、本計画がめざす各疾病・事業・在宅医療の医療提供体制や患者等の状態を示しています。

### 【指標とは】

- アウトカムおよび具体的施策の状態や推移を測るための目安となる項目を、指標としてそれぞれ設定しています。また、各疾病・事業・在宅医療対策の数値目標は、基本的に分野アウトカムと中間アウトカムの一部の指標における6年後の達成すべき値を設定しています。
- また、数値目標を設定しない指標（基本指標）についても、その推移を把握し、本計画の評価・見直しに随時活用していきます。